

魅力あるまちの実現を目指して

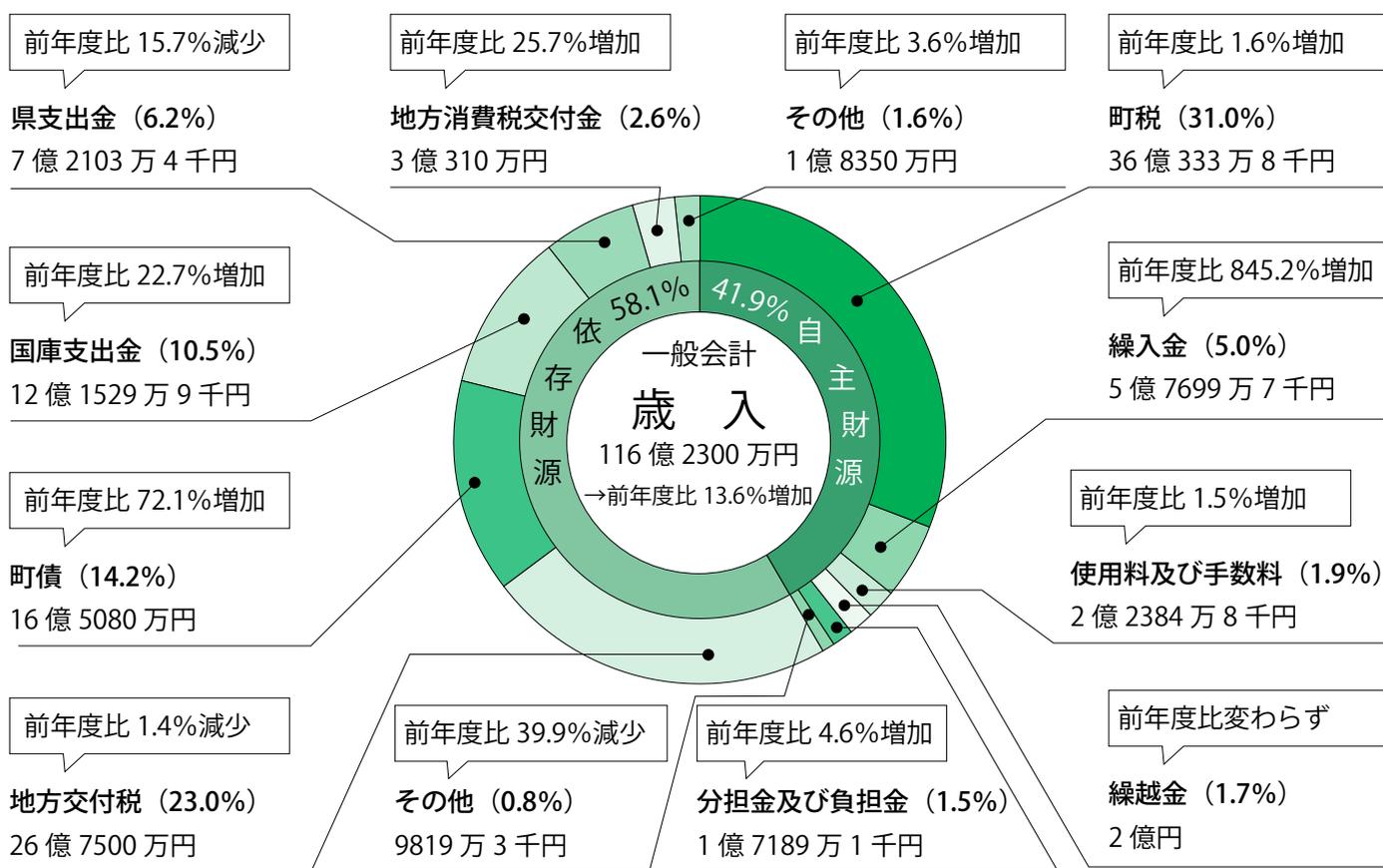
# 平成 26 年度予算が決定

町の平成 26 年度予算が、3 月に開かれた町議会第 1 回定例会で決まりました。

予算の編成に当たっては、町の発展と住民生活の向上を常に念頭に置き、住民の皆さんが安心・安全に暮らすことのできる魅力ある「まち」を目指し、第 3 次総合計画に掲げた目標に向けた取り組みを着実に推進することとし、必要性、緊急性を十分に精査したうえで編成しました。

今月号では、予算の全体像、主な事業内容を紹介します。

☎ 企画財政室財政課 ☎ 34-2072



## 予算の全体像

予算総額は 212 億 3211 万 2 千円

町の予算は「一般会計」と「特別会計」、そして地方公営企業法に基づく「水道事業会計」から成り立っています。

町の各会計予算総額は、212 億 3211 万 2 千円で、前年度の当初予算に比べて 18 億 4789 万 2 千円、9.5%の増加となりました。

一般会計予算 116 億 2300 万円

特別会計予算 82 億 9083 万 4 千円

水道事業会計予算 13 億 1827 万 8 千円



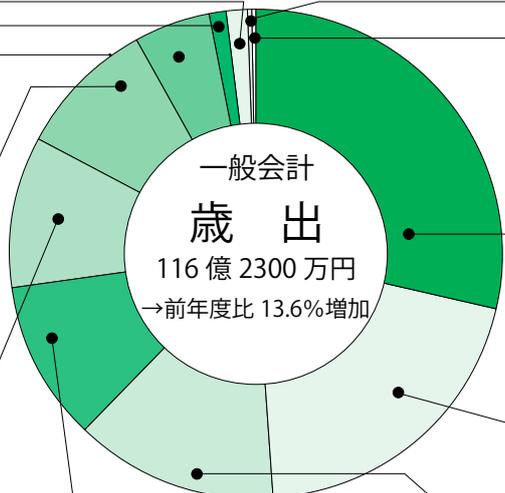
前年度比 22.8%増加  
農林水産業費 (1.3%)  
1 億 5653 万 4 千円

前年度比 10.6%減少  
議会費 (1.2%)  
1 億 3861 万 7 千円

前年度比 34.4%増加  
商工費 (0.4%)  
5031 万 3 千円

前年度比変わらず  
予備費 (0.1%)  
1500 万円

前年度比 17.7%増加  
消防費 (5.0%)  
5 億 7921 万 2 千円



前年度比 1.7%減少  
民生費 (28.8%)  
33 億 5285 万 6 千円

前年度比 11.3%増加  
土木費 (9.0%)  
10 億 4257 万円

前年度比 72.9%増加  
公債費 (20.3%)  
23 億 6329 万 4 千円

前年度比 0.6%増加  
総務費 (10.0%)  
11 億 5751 万 5 千円

前年度比 2.7%減少  
教育費 (10.6%)  
12 億 2731 万 4 千円

前年度比 20.6%増加  
衛生費 (13.2%)  
15 億 3977 万 5 千円

※ ( ) 内の数値は構成比。端数処理の関係で 100%にならない場合があります。

- **町税** 町に納められる税金で、町民税、固定資産税、軽自動車税、町たばこ税、都市計画税があります。
- **地方交付税** 一定の行政サービスの水準を維持するために、財政力に応じて国から交付されるお金。
- **繰入金** 基金の取り崩しや他の会計から繰り入れたお金。
- **町債** 主に建設事業の財源として町が金融機関などから借り入れるお金。
- **議会費** 議会運営に関する経費。
- **総務費** 町の一般的な事務経費や、庁舎管理、徴税、戸籍、選挙、統計などの経費。
- **民生費** 社会福祉、高齢者、障がい者、児童福祉、人権啓発などの経費。
- **衛生費** 保健衛生、ごみ・し尿処理などの経費。
- **農林水産業費** 農業振興や生産基盤整備などの経費。
- **商工費** 商工業や観光振興などの経費。
- **土木費** 道路・河川整備、都市計画住宅などの経費。
- **消防費** 消防や防災などの経費。
- **教育費** 学校教育や生涯教育、文化・スポーツ振興などの経費。
- **公債費** 事業を行うために借り入れたお金を返済する経費。

## 用語の解説

## 一般会計

↑ 前年度比  
4・4%増

一般会計の予算総額は116億2300万円、前年度に比べて13億9400万円、13・6%の増加となりましたが、過去に借り入れた町債の借換えを除いた実質的な予算総額は105億6780万円、前年度に比べて4億4330万円、4・4%の増加となりました。

### 歳入

歳入のうち、自主財源の合計は48億7426万7千円で、前年度に比べて5億8004万1千円増加しました。

主な自主財源である町税は、固定資産税での新築家屋の増加、法人住民税での企業の業績回復、収納率の向上などにより、前年度に比べて約5700万円の

増収を見込みました。繰入金金は前年度に比べて約5億1600万円増加しており、ごみ中継施設建設に充てるための基金の取り崩しが主な要因です。

依存財源は67億4873万3千円で、前年度に比べて8億1395万9千円増加しました。主な依存財源である地方交付税は3700万円の減収を見込みました。町債は、過去に借り入れた町債の借換えなどにより前年度に比べて約6億9200万円増加しました。

### 歳出

歳出では、臨時福祉給付金・子育て世帯臨時特例交付金の給付事業を実施するため、約1億4700万円

を新規に計上しましたが、今年度は私立保育園改築事業補助金が不要となりますので、民生費全体では前年度に比べ約5600万円減少しました。

## 特別会計

### 国民健康保険 特別会計

↑ 前年度比  
4・4%増

後期高齢者支援金や介護納付金などは減少したものの、療養給付費などの保険給付費が増加したため、前年度に比べて1億5510万5千円、4・4%の増加となりました。

なお、今後の国民健康保険制度について県・市町村で検討している状況を踏まえ、保険税を見直し今年度から資産割を廃止します。

中継施設の建設に取り組むため、前年度に比べ約2億6300万円増加しました。

なお、公債費は過去に借り入れた町債の借換えに伴う償還を除くと、前年度に比べて約4600万円の増加となります。

### 公共下水道事業 特別会計

↑ 前年度比  
0・2%増

下水道は、住環境の改善や公衆衛生の向上、また、水質保全を図るうえで欠かすことのできない施設であり、計画的に整備を進めています。今年度は、公共下水道事業で3・46%、特定環境保全公共下水道事業で8・34%の整備を行います。

今年度予算は、前年度に比べ334万5千円、0・2%の増加となりました。

町民1人当たり  
に使われるお金は

35万3648円



平成26年度一般会計予算を、町民1人当たりの額に置き換えると、このような使い道になります。

### 衛生費

4万6850円



### 民生費

10万2016円



### 教育費

3万7343円



### 公債費

7万1907円



会計別予算額

(単位：千円、%)

会計		平成 26 年度	平成 25 年度	増減額	増減率
一般会計		11,623,000	10,229,000	1,394,000	13.6
特別 会計	国民健康保険	3,668,388	3,513,283	155,105	4.4
	住宅新築資金等貸付事業	1,530	1,538	△ 8	△ 0.5
	公共下水道事業	1,854,888	1,851,543	3,345	0.2
	後期高齢者医療	388,323	364,547	23,776	6.5
	介護保険	2,362,788	2,206,915	155,873	7.1
	磯城郡介護認定審査会共同設置	14,917	13,549	1,368	10.1
水道事業 会計	収益的	874,941	767,483	107,458	14.0
	資本的	443,337	436,362	6,975	1.6
各会計予算総額		21,232,112	19,384,220	1,847,892	9.5

今年度の予算は、前年度に比べ、収益的勘定が1億745万8千円、14・0割の増加、資本的勘定が697万5千円、1・6割の増加となりました。  
水道は、文化的な生活や経済活動を支える必要不可

**↑ 収益的勘定**  
14・0%増  
前年度比

**↑ 資本的勘定**  
1・6%増  
前年度比

水道事業会計

**↑ 後期高齢者医療  
特別会計**  
6・5%増  
前年度比

後期高齢者医療広域連合納付金の増加などにより前年度に比べて2377万6千円、6・5割の増加となりました。  
なお、保険料率・限度額が今年度から見直しされます。(本紙20ページ参照)

**↑ 介護保険  
特別会計**  
7・1%増  
前年度比

今年度は、第5期介護保険事業計画の最終年度に当たり、引き続き介護サービスや介護予防サービスの充実に努めます。  
今年度の予算は、前年度に比べて1億5587万3千円、7・1割の増加となりました。

欠な基盤施設であることから、より一層、安全で安心できる水を供給できるように老朽化した大口径石綿セメント管の更新事業に着手します。  
また、今後の施設の更新・整備費用を踏まえたうえで、自己水と県水受水量の適正量を検討し、引き続き経費の抑制や維持管理経費の削減に努め、経営状況の透明性の向上と健全で効率的な事業運営を推進します。

<p>予備費</p> <p>456円</p>	<p>議会費</p> <p>4218円</p>	<p>消防費</p> <p>1万7623円</p>	<p>総務費</p> <p>3万5219円</p>
<p>※数値は、各歳出項目を32,866人(平成26年3月1日の住民基本台帳人口)で割った額です。</p>	<p>商工費</p> <p>1531円</p>	<p>農林水産業費</p> <p>4763円</p>	<p>土木費</p> <p>3万1722円</p>

平成 26 年度一般会計予算 歳出性質別分類 (表 1)  
(単位：千円、%)

区分	平成 26 年度	構成比
人件費	2,015,611	17.3
扶助費	1,779,167	15.3
公債費	2,363,294	20.3
(義務的経費小計)	6,158,072	53.0
普通建設事業費	1,117,061	9.6
物件費	1,491,241	12.8
維持補修費	63,946	0.6
補助費等	1,263,938	10.9
積立金	16,183	0.1
貸付金	2,755	0.0
繰出金	1,494,804	12.9
予備費	15,000	0.1
歳出合計	11,623,000	100.0

※構成比は端数処理の関係で集計値と一致しません

また、家の改築には多額のお金がかかりますので、あらかじめ蓄えていた貯金をおろしたり新たに借金をしたりしてまかっています。そのほかに、光熱水費などに5万1000円、家族への援助に5万1000円、友人などの援助に4万4000円、貯金などに10000円を見込んでいます。

町の予算は「金額が多く、言葉も専門的でよく分からない」ということもありますが、より身近に実感できるように、平成26年度一般会計予算116億2300万円を480万円(1カ月あたり40万円)の家計に例えてみました。

は、議会費、総務費といった行政目的に着目した目的別分類(3ページ参照)ではなく、人件費や物件費などの経費の経済的な性質に着目した性質別分類を使って説明します。(表1)

支出の内訳をみると、食費、医療費、ローンの返済で21万2000円になります。

## 町の一般会計予算を家計に例えました



家計において、最低限の食費や医療費は削ることができませんし、ローンの返済も決まった時期に決まった金額を返済しなければなりません。簡単に削減できないこれらの3つの経費は義務的経費といわれ、平成26年度では53・0%を占めています。

### 町の予算を家計に例えると…

#### 収入

給料(町税、地方交付税など)	23万3千円
うち基本給(町税)	12万4千円
親からの仕送り(国・県支出金)	6万6千円
パート収入(使用料・手数料など)	1万7千円
貯金の取り崩し(繰入金)	2万円
借金(町債)	5万7千円
繰越(繰越金)	7千円
合計	40万円

#### 支出

食費(人件費)	6万9千円
医療費(扶助費)	6万2千円
ローンの返済(公債費)	8万1千円
家の改築・修繕(普通建設事業費など)	4万1千円
光熱水費など(物件費)	5万1千円
家族への援助(繰出金)	5万1千円
友人などへの援助(補助費等・貸付金)	4万4千円
貯金など(積立金・予備費)	1千円
合計	40万円



▲今年度から給食調理の民間委託を3校に拡大します

## 平成 26 年度の主な事業

### 6つの基本施策ごとに見てみよう

平成 26 年度の主な事業を「自然と歴史・文化が育む新しい生活拠点たわらもと」をまちづくりの将来像とした、田原本町第 3 次総合計画の 6 つの基本施策分野ごとに紹介します。

共に幸せを感じられるまちづくり

#### 放課後児童健全育成事業

4192万6千円

平成 27 年度から学童保育の入所対象が小学校全学年に拡大されるため、入所児童の増加が見込まれる田原本学童保育所・南学童保育所  
所で保育室を増室します。また、他の学童保育所についても修繕を行い、引き続き保育サービスの充実を図ります。

#### 臨時福祉給付金給付事業

1億225万円

#### 子育て世帯臨時特別給付金給付事業

4500万円

消費税率の引き上げに伴う低所得者・子育て世帯への影響を緩和するため、国の施策である臨時福祉給付金・子育て世帯臨時特別給付金の給付事業を実施します。

#### 子ども・子育て支援事業計画策定

262万5千円

平成 27 年度から子ども・子育て支援法が本格施行されることに伴い、幼児教育・保育や地域の子育て支援などの事業量の見込みや方策などを盛り込んだ「子ども・子育て支援事業計画」を作成しています。昨年度実施したアンケート調査などをとに今年度に策定します。

人が活いきと輝くまなびのまちづくり

#### 小中学校校舎の耐震化事業(平成 25 年度補正分)

8190万1千円

#### 幼稚園園舎の耐震診断事業

424万2千円

教育現場での園児児童生徒の安全確保や、災害時における避難施設としての役割を果たすために、計画的に耐震化事業を実施しています。  
また、幼稚園園舎の耐震診断については、昨年度から計画的に実施しています。

#### 学校給食の民間委託の拡大

4525万2千円

学校給食の充実と効率的な運用を図るため、調理業務の民間委託を、南小学校に加えて北小学校・田原本小学校にも拡大して実施します。

#### 総合型地域スポーツクラブ育成支援

30万円

誰もが気軽にスポーツを楽しむ環境づくりを進める一環として、地域住民の皆さんが自ら管理運営する形態の総合型地域スポーツクラブの育成支援を行います。

## 都市基盤が充実したまちづくり

### (仮称) 田原本駅前交番設置事業

4261万6千円

防犯体制の充実や交通安全対策の推進には、警察などの関係機関との連携がより一層必要となります。

防犯拠点として設置を進

めていた(仮称)田原本駅前交番については、昨年度に用地の確保を完了しており、今年度中の運用開始に向け建設工事に着手します。

### 交流促進施設整備検討業務

2000万円

国史跡唐古・鍵遺跡の史跡公園を活用したまちづくりを推進するため、史跡公園北西部に交流促進施設の

整備を進めます。今年度は地質調査や開発許可に係る図書の作成などを実施します。

### 田原本駅周辺整備事業

942万4千円

本町の玄関口である近鉄田原本駅の周辺整備については、人びとが住まい・賑わう暮らしよい駅前を目指して、南街区の市街地再開発事業の実施に向けた支援

とともに、都市計画決定を行います。また、昨年度に引き続き、駅周辺の活性化と賑わいを創出する取り組みを行います。

### 公共施設への太陽光パネル等設置事業

270万円

### 防災資機材保管庫設置事業

240万円

大規模災害に備え非常用電源の確保などを目的として、指定避難場所である小中学校に太陽光パネルと蓄電装置を順次設置していきます。今年度は平野小学校の設計を行います。

また、河川防災ステーションで集中的に管理している防災資機材について、災害発生時に即座に対応できるよう、町内の数か所に防災資機材の保管庫を設置し、分散管理を行います。

## 快適に生活できるまちづくり

### 新たなごみ処理施設の整備に向けた取り組み

5億9643万4千円

新たなごみ処理施設の整備については、やまと広域環境衛生事務組合で取り組んでおり、新施設の本体工事の実施設設計などが予定されています。

また、町内で一般家庭や事業所から直接持ち込まれるごみを一旦受け入れ積み替える中継施設については、用地取得と施設建設を行います。



▲田原本駅周辺の活性化を図ります(写真は昨年のやどかり市)



▲今年度中の運用開始に向け田原本駅前への交番設置を進めます

唐古・鍵遺跡史跡公園整備事業

1億2764万4千円

国史跡の唐古・鍵遺跡の保存と整備については、平成29年度の完成を目指し、史跡公園として整備を進めています。

昨年度で盛土造成工事が完了し、今年度は北東部の多重環濠や大環濠などの復元工事を行います。

活力湧き出る産業振興のまちづくり

町地域消費拡大事業

300万円

消費者の購買意欲を促し、商工業者と地域経済の活性化を図るため、町商工会が発行する「もっと!!がんばる」を交付します。また、県や関係機関との情報交換や連携を図り、企業訪問の実施や中小企業総合展への出展などを引き続き行います。

良好な田園維持と効率的な農業の推進を図るため、農業用水路などの生産基盤の継続的な整備や金剛寺地区の大型井堰の改修などを行います。

企業等の誘致・立地促進事業

162万3千円

本町の産業の基盤強化と持続的な発展のため、企業立地促進条例に基づき、工場などを新設・増設した企業を支援するために奨励金を交付します。また、県や関係機関との情報交換や連携を図り、企業訪問の実施や中小企業総合展への出展などを引き続き行います。

空き店舗対策事業

330万円

中小企業者に対する資金融資の実施

1091万4千円

近鉄田原本駅前活性化のため、駅東側商店街の空き店舗を活用して新たに事業を行う人に店舗改装や家賃に対する補助を行います。

また、事業の運転・設備・店舗改造資金を必要とする中小企業者に対する資金融資制度を引き続き実施します。

農業基盤整備事業

(うち平成25年度補正分)

7334万8千円  
1900万円

効率的な計画推進をめざしたまちづくり

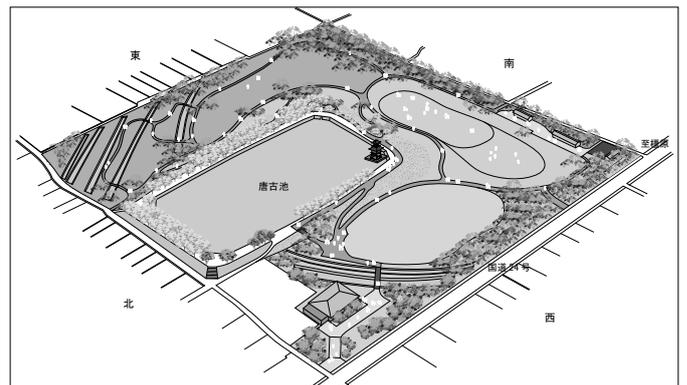
公金収納データ作成業務委託

130万円

皆さんから納付された税金や保険料の納付記録を収納システムに書き込む作業を指定金融機関に委託することにより、効率的な徴収体制の確立に取り組みます。



▲金剛寺地区の大型井堰の改修などを行います



▲魅力ある史跡公園として整備が進められる唐古・鍵遺跡